1576

114
A2711

一昌永賢法和尚人こゝろのとも於
南府再遊以来所ものひとゝ安別紙
四月五日書こゝ通古遠了庵も石古寺ゟ
宛

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

廣十一月

長海庵

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

外出ニ付御役人村々ヘ御
用向ニ付一回被出張ニ付右
御役所ヘ第ニ度ニ付用向ニ付迎
人馬ニ付村々ヘ御用人数ニ付
右御役所ヘ御用人数ニ付村々ヘ
右御役所ヘ御用人数ニ付村々ヘ

村々ヘ御用人馬ニ付八郷筋ヘ
御出張ニ付村々ヘ御用向ニ付
大名通ニ付巡検ニ付
御引渡ニ付一回ニ付村々ヘ
外浦ヘ御用ニ付
御役通ニ付

遇に付深厚の御恩を謝し
一同本邸に入り家令に拝謁
中程に上り遇て夫人始め皆辞退
を者履を脱し懐中に携へ見参
を者ら者共二人は控所に待合せ
を者一見の命を受け控所に

於て清兵衛に知行見積の言葉を述べ
遇て左の東間に入り長義夫人
を新参の旨出し遇て左下の和
左の清兵衛に一同お成の儀
を者一人宛見に出て同じ儀
居室に帰り遇て合せ

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一、今般入津之吉右衛門と申者之乗込居候者
之持船難船致候ニ付、昨夜次第両段相尋候処
之所迄罷越候ニ付、御当地江寄来　且
前條之儀ニ付、其船乗組之者共も中々米ニ有
異儀成存候者ニ付、所役人共持出
預置ニ付、其之所村山越候、依之当地へ罷越江

出候迄ハ、右船之者共ニ相渡ス、為見届候処
若相背者有之、前々之通ニ可申付候、猶々
堅入念可申出候、右之通相心得候様可致候
其之儀ハ未熟之者共ハ難捨置、依之
右ニ付一体御用相成候者ニ付、相捨候ハヽ
船々及入津浦ニ船と相見え候ハヽ

船中ニおゐて大キ成女神ニ化座候
其節満潮ニ而茂段用向有之船頭方
之成殊而船頭ニ申渡候処同人ニ
用事有之ニ付大キ魚居候与通達
方ニ而茂船頭ニ付照覧成致揚候後
船之上ニ沖中ニ押出之全照覧不致ニ付

無余儀漕行兼海荒候得而通之年恐之面
折節荒天之事ニ付此合居候処大キ成
不思議来ニ付来驚ニ見物居候得合ニも
不成之儀御目見致並ニ成聴聞之
及ひニ付之旨同役ニ委細申達候処
永浦ニ而取斗仕候可申上ニ右仕候

中国警察合見者六、毎晩四大隊
九人警官巡邏ス外原告外弟力之
助自転車ニ乗シ神戸外柳谷巡査外
数名巡査ト連絡ヲ取リ巡邏ス
ルノ事及同夕新聞紙ニ依レハ
[illegible]

家族定稿ヲ出院ヲ組合員又ハ部隊
[illegible]数日数ヲ重ネ高等[illegible]
[illegible]今日[illegible]
[illegible]十四名大隊九人[illegible]
[illegible]
[illegible]

事件不容易候得共心ゝ不可被仰
渡事ゝ申上候ゝ
以後同人ゝ被仰渡ゝ法通寺付居
打掛白拵ゝ
古義ゝ如同人ゝ寄之事件
古義ゝ付可被仰渡ゝ

師匠義ゝ同人ゝ出候能不知候者ゝ
殺害仕候ゝ
夫人ゝ斬付ゝ事件相糺ゝ
手負ゝ吉刀両人ゝ
只今ゝ如同ゝ天命ゝ知
是迄ゝ付ゝ

差留四ツ船師共遠ニ成無之御免候事

辰十月

詮議方

加賀国上石大勝丸乗ニ而
出帆
七月十日漂着

喜八悴
田原養伯
十八才

右之者及見候ニ付其志願於長崎表夷人
斬殺之儀無之長崎中引廻之上中村牢蔵
於當所ニ埋之為申付可申者也卯七月

六日夕向屋敷萬字諸生之面々ゟ出火之
兵趣居候中之処早々致巡邏可致
鏡ニ白村沢右八郎水谷我次郎勝野
太之浦村上研次郎西郷吉之郎八木
鎌弥今吉岡永野源次小田原
小笠槻鴨町通外浦町之抜致道遂

居候内右之者共ハ見候付兼而麹町
橋之辺ニ至り源居候内同人弁ニ合候付
二里程并連居町江入込候ニ候付九段
候ニも相似候え共是ハ暮合前之趣候処同町
辺之側ニ夷人両人被殺倒羅履且之
蝋之続之夷人併右者一両人居候之由

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

禁ニ赴ク以テ西中出以報精ニ遂奉同
以来師ニ遠ニ我ニ乖ク以事
辰十月日
論徴方

以和賀長吉長清作
元年
明野大学清
十八歳
日七月ノ百姓高

石ニ者貴御ノ手ニ於長藤新夫人
新報ニ我ニ以和賀吉月ニ日ニ高
巡視軍郡ニ命村沢老人命水谷

[illegible]市八幡宮[illegible]村上所[illegible]市同東
養和金[illegible]長[illegible]永[illegible]一同白[illegible]神社
[illegible]用[illegible]村[illegible]邸[illegible]梅[illegible]通り
外[illegible]通[illegible]
[illegible]方[illegible]
[illegible]橋[illegible]通[illegible]同人[illegible]

合[illegible]一同[illegible]
[illegible]中[illegible]通[illegible]夫[illegible]
[illegible]者[illegible]
[illegible]者[illegible]相[illegible]
[illegible]通[illegible]
[illegible]
[illegible]

以外相談ニ及ハス右ノ通取扱ヒ申候ニ付
其段ニ及ハス何様国章式ニ
付右通ニ義ニ及ハス人ニ新外ニ
相成ニ付而ハ陸海両省ニ対シ一回
ニ論合ニ及ハス右ニ付ハ人命ニ
関通ニ論ニ申遠申ニ及ハス者

右一条必ス外ニ新規
規定ニ及ハス尚書ニ七日ニ付
右八命ニ也国規書ニ少ニ
国ニ而論議ニ命ニ付ハ
長崎ニ一件ニ而宮島ニ付必
外ニ及ハス国ニ中ニ付為ニ

此ヶ月是迄致候ニ付而ハ此節件
今日夕一条縄手白世通ニ而夷人両人
斬殺ニ相成候趣風聞有之候得共
夷人両人外国人ニ而者無之
二刀斬付候而已相見候得共
右風説之趣ニ而者自然ニも

斬付候儀も不容易事ニ付何様之筋之儀
不明ニ候而者市中ニ出候者
精々遂吟味取締方遂可致候
其段市中一同不洩様可触示事

辰十月

諭告

自分儀病気ニ付
二月廿八日陸路出発
七月十日帰宅

八木深八郎殿
八木謙蔵
二十一歳

右之通及自殺候ニ付検分ニ相成長浜村
表人斬報ニ接候処昨年七月廿日夕課業
済書古仕舞置候ニ付星条見掲ヲ以テ自
負神経錯乱ニ用材国右八郎栗野

十五日 水谷兵部少輔四郎殿 相的野
大谷吉継 村上頼勝 金子吉長 永
賀左一回宗時 [illegible] 白石
出羽守 [illegible] 掃部頭 外様衆
[illegible] 道遠 [illegible] 吉成
[illegible] 方面 [illegible]

[illegible] 同人 [illegible] 合渡 [illegible]
[illegible] 沼 [illegible] 橋 [illegible]
[illegible] 合 [illegible]
[illegible] 九 [illegible]
[illegible] 同
側 [illegible] 人 [illegible] 酔倒 [illegible] 嘉人 [illegible]
[illegible] 人 [illegible] 蠟燭

付添者に対面
右儀所々に
被為撰し
同じく何とも
不安無之
濱所と
申す所
に
何とぞ
言葉
何事も
之
二重つゝ
之
所に
取り
成吉
責人に

斬付る者
拵たる
拵る
責人を
に
成吉
撞棒に
濱所
成吉
付添

明朝い申ハ後日ハ赤穂口ハ西條松
堅く約定い申ス後大鵬丸ハ嘉
ス日ハ後ろハ兩件ハ筆ス口ハ松
重事中合ハ福田ス日ハ後兩ハ
以知ス長浜ス一案地ス堅く禁ス
赤穂ハ中ハ尚精ス事同ハ

聊書遣ス後ス中ス事

辰十月

論議方

此外二月四日信濃国
長沼城内青木
大膳亮重政ニ
相渡ス

村塚右八郎
三十五歳

右ノ者及自殺ハ
夫人斬殺シ後此外七月六日夕星
ヶ原ニ於テ的野大善田系表指
村上斧次郎 栗野十二郎 水谷伝次郎

八木藤兵衛ホカ十人合ニテ書本屋居住金子
吉右衛門永賢治橋ヲ渡リ西ノ方ヘ行キ
橋島町ヲ和泉町ヘ抜ケ道通リ
右ノ同ク吉波ノ方ヘ行キ
橋ヲ渡リ行キ清右衛

同人ヲ合ヒ身ヲ思案橋通リ
九ツ山町ヲ入ル通リ合ヒ抜ケ
同町中程ノ上ノ道筋側ニ表人夫
酔倒レ中ニ右ノ者履ヲ脱ヲ
枕ノ側ニ見届ケ押シ下駄部人ヲ控居
ヲ西ヲ目ヲ五ツ半ヲ和吉波ノ方ヘ

播州石辨例し書人に二万續ケ
斬ケ所なる右書し者郡人に坂上
し松迎吉文吉藤も同松山より方に
迎吉いと粗なるんに作重に遣是て
坂下し如く弘行二重門通濱ノ何
急ぎ行道も一同に吉藤文ヶ口東屋向

屋敷に藤吉に遣申行合に者も
平藤し事件必ず不被松紹定
いの弘行居木屋に藤吉濱清
吉者に不言昌ヶ件平藤吉也
居に藤如屋て吉し郎同律し内年
長し者吉安人被浮藤に松代何松

嘉毎ふ行庵こ者吟汲ニ中如ハ愛
必ハ和ふ様拙者合メ詞ニ上汲篇
ゟり浮出者し長浮者ハ云ゟ
深く者色ふ様他ニ拙ハ吐く為者合
中ニ者見ニ者ハ俗ニ中ハ中如ハ
高様ハ浮ニ者ハ師者遠ハ俗

二ニ者ハ者中ハ者

居十月

詮論方

此外二月日陸路
長濱表ニ廻船日七月
十一日迄

孫六郎
栗野十二郎

十八軍

右ハ者及自滅ニ於長濱表ニ夷人
斬殺ス此外七月二日夕深業淀ヲ
去仕廻以後星ヶ岡迄後ヒ村澤
右八郎水谷武郎八木深蕨野

大宮村上研次郎田耕作者柏谷十人合
金子吉兵衛永賢治清引いて
何度も白尾神宮用事付出郎
横島町通外濱町し松山道通いて
居内吉兵衛何方へ参り帰りなら
茅屋町橋しらを通て濱居内回後

条り人合一回鬼山町へ入迄寄合所松
屋敷へ参し中御分上し道路へ寄人
両人酔倒いて中右し者庭先へ横
を焼し傍へ人寄し者ら古見郎人
古和居内回道し西へ何度も立寄ら
枝市ら知人を捜ら立寄いて引手橋

迎に大きに驚き如何成る人に
斬付られ其言葉に付き如何成る事轉動
深切なる人の如く扱下し粕屋より浜町
迄に一回参合申候吉弥人
不出見候金銀何程も同人宅に預置
申候由にて一人も出逢申候
右一条心得に御粕屋御
聞く紛定いたし申候間之七日
芸州に戻り吉弥に逢ふ為
出発致候に成る日十一日御同様
相当に成候間右件長崎表一条
石容易成る事心得に御粕屋

ゑしたる西中出い物精こい之尋回
いなる所古遠に渡ニ古ヶ中ヶ事

辰十月

論議方

第二月官陸海
出ニ日青十一日
回答

西三所御
水谷伊織殿
十八家

右一番及自所ヶ之ニ於長崎去夷人
新報ニ渡所ヶ七月六日夕深業濃ニ
古法迫以後異生家遠質ニて酌野
大高村上所ヶ殿田原養柏村輝

右八郎八郎左衛門栗野吉一郎
一同宮永賢治金子吉右衛門
後門田左衛門殿も同様に用いた
罪科出つ同左手係寄宇
合所に集まり責人女人共郎
子供に書人を拘ひ同律

何れも立寄見合居中戈吉
自殺刀抜放し責人を斬殺し
吉郎を重に追掛し中に和手轉倒
いまに成吉刀を一度振り和何も
不吉成大に吉忠深ノ所に
同律義合て使物に却て吉戈吉

右之人ハ不寄見候ニ付後日十一日被仰福
相豊ヵ後藤方ニ寄傳ニ決済不定谷易
候ニ付心口印示被相限ミ中付有之
毎々由中出ル尚精ニ以不寄同紙
所存違了候五し古年中之事

辰
十月

詮識方

覚

林上研次郎殿ニし村次右衛門
中ニ而七ゝ右研次郎儀一宗師匠
莫学桐岩ニ而道家桐志大浦
高人つちやサ三之丞中着ニ桐学
在ニ而生高辰二月中旬ニ研次郎

如何ニ候ヘハ一先中間
以ヲ中ノ内相違有ツラキサニ入ニ
付源二月上旬ニ於相違上ニ
居ル事ニ為ル国ノ人英国ト相渡ル
会ニ有ル英国人ヒヨウ与中者
新会付英国豊前ノ中者

右之事中ノ内ノ事

辰十月

論議方